

平成29年（少コ）第0000号債務不履行に基づく損害賠償請求事件

原告 劇団ごか共同代表者崩務死郎こと鈴木太郎 外1名

被告 勉 吾 柴 佳 代

第 1 準 備 書 面

平成30年1月10日

東京簡易裁判所 御中

原告訴訟代理人司法書士 久 松 伸 一 (印)

第1 答弁書に対する認否

1 第3 本件の事実関係

「同年9月26日、原告は一方的に被告に降板を命じた。」の部分及び「原告からは「出せないから」の一点張りで結局降板することになった。」の部分を否認し、その他の部分を認める。

「出せないから」といった事実はなく、別の役（村民）での出演をするように指示したが、被告が拒否した。平成29年9月26日に「出演するとしてもできる限り名前や写真を控えるのはできますでしょうか。」と返信していることから（甲2 午後11：42）、出演することができることが前提でのやりとりであることがわかる。

2 第4 被告が賠償責任を負わないことは争う

前項の事実により、原告は被告に対し一方的に降板を命じたのではなく、被告の能力等を鑑みての配置転換を指示したに過ぎない。したがって、被告は、劇団を運営する立

場である原告らの指示を拒否し、「自己都合で出演をキャンセル」したといえる。また、公演チケットのノルマ代支払義務についても同様に、被告が自己都合で出演をキャンセルした以上当然に負う。